

福島県立美術館 企画展
「東北へのまなざし」
令和4年7月2日



町外研修 山形県山形市
令和4年11月1・3日

町外研修に参加して

染谷憲一

コロナ禍の中、町外研修が実施されると聞き大変楽しみにしておりました。当日、天気や気温にも恵まれて最高の日でした。
午前中、「文翔館」等を見学し、昼食後「最上義光歴史館」を見学しました。二階建ての建物の中に、義光公が愛用した刀剣や、銃弾の跡がある甲冑、合戦図、家康に送った書状等、沢山の展示物がありました。又、義光公は和歌や書にも優れ、地元では文化人としても高い評価を得ている武将でした。

◀ 文翔館を見学する会員たち



縄文土器野焼き

令和4年10月29日



次に県立博物館を見学しました。入口のすぐ左側には、大きな化石の展示物があり、一九七八年に、大江町を流れる最上川の川床で、小学生によって発見された「ヤマガタダイカイギュウ」という海に住む哺乳類の全身骨格型で、世界でたった一個体しかない貴重な化石でした。又、館内では「女神たちの饗宴 縄文の女神 国宝指定十周年」というタイトルで開催されており、全国から出土された「土偶の女神」たちが展示されておりました。山形県の「縄文の女神」や、長野県の「縄文のビーナス」(仮面の女神)や、北海道の「中空土偶」等、土偶とは思えないスマートな顔立ちや、大きく重量のある土偶等が、とても印象的でした。又、館内には、各地から出土した土器や、土偶、石器等が年代別に展示され、とても理解しやすく良かったと思えました。

令和4年11月5日、6日 三春町文化祭 合同展示参加 三春交流館まほら ホワイエ



三春町歴史民俗資料館

会報に寄せて

「戦争と私 父の出征」
会長 佐久間眞

父に召集令状が届き出征したのは父が33歳、私が5歳の時でした。家に残されたのは祖母、母、姉と私の4人になり、とても心細い気持ちになったことを覚えて

います。父は海軍に入隊し、千葉県館山に配属されました。その年の冬に母方の祖父と母と姉と私の4人で父に面会に行くことになりました。夜行列車で館山に着き旅館に宿泊、次の日の朝は快晴でした。空には珍しい飛行艇が飛んでいて、嬉しく眺めていたことを覚えて



トホームには列車を見送る兵士がいて「さらばラバウルよまた来るまでは」の軍歌を歌っていました。彼らの顔には笑顔はなく、緊張した眼差しでした。きつと戦地に送られる兵士だったのかも知れません。はたしてどのくらいの兵士が生きて帰還することができたのでしょうか。
午後には父が旅館に来てくれました。元気でした。お土産に軍から支給されたのであろう「砂糖パン」を持ってきてくれました。甘いものに飢えていた私たちには素晴らしいご馳走であったという間に完食、懐かしい思い出です。
夜星空を眺めると、無数の美しい星が輝いています。その中で奇跡的に生物が存在する星は、今のところ地球だけと思われています。その貴重な地球上で人の命を奪う武器を作り、戦争という愚かな行為をしているのは人間だけではないでしょうか。私たちはもっと賢くなり、仲良く平和に暮らしていける世界を築きたいと思

友の会だより

令和5年度

会員募集中

申込・問合せ
0247(62)5263

歴史・文化がお好きな方に
学びに興味がおありの方

- 主な特典
 - ① 1年間資料館、人形館 紫雲閣、入館料無料
 - ② 学習会への参加 月に1回程度学習会を開催
 - ③ 町外研修 年に1回県外へ町外研修を予定
 - ④ グループ活動
 - ・ 方言を学ぶ会
 - ・ 三春地方の方言・生活語を学ぶ会
 - ・ 縄文土器等制作
 - ・ つるし飾り制作
 - ・ 歴史紙芝居を作る会
 - ・ 三春の歴史に親しむための紙芝居制作 (グループへの参加は任意です)



各グループ活動の様子

町外研修先実績	
令和4年	山形県山形市
令和元年	群馬県高崎市
平成30年	茨城県
平成29年	日光方面
平成28年	米沢・白石方面
平成27年	宮城県川崎町
平成26年	埼玉県川越市
平成25年	茨城県

令和4年度友の会活動		
日付	活動	場所
4月2日	春季企画展「天然記念物指定100年記念 三春滝ザクラ」見学学習	資料館企画展示室
6月25日	城下町散策	三春町旧町内
7月2日	県美企画展「東北へのまなざし」見学	福島県立美術館
8月9日	体験講座縄文土器づくり	資料館研修室
8月10日 8月11日	秋季企画展「三春のおけいこ」見学学習	資料館企画展示室
10月8日	縄文土器野焼き	八幡神社下空き地
11月1日 11月3日	町外研修	山形県山形市
11月4日	町文化祭合同展示参加	
11月5日	歴史紙芝居披露	まほらホワイエ
11月6日	土器づくりデモンストレーション	
1月25日	歴史講話「失われた神仏」	資料館研修室
2月5日	三春の桜についての勉強会	自然観察ステーション
2月21日	茶話会	まほらホワイエ
3月5日	文化財フォーラム	自然観察ステーション

年会費 一般会員：1,500円 賛助会員(法人)：一口5,000円

つるし飾りグループ
松本恵美子

歴史民俗資料館でのつるし飾りグループは五年となります。皆、物づくりに好きな方々が月二回集まり、コツコツ一針一縫いの、祝い物、季節のものを作った自己満足をしています。コロナ感染に伴い、集まりを中止した時期もありましたが、時には自己研鑽を兼ねて歴史主催での飯野町つるし飾りや、飯坂つるし飾りの見学をしたり、又個人的にも各方面のつるし飾りを見学したりしております。現在は7名の人数です。講師は全員が先生です。作っている過程で、アイデア等に勉強になったり感心したりと、一つの作品を作り上げる和みの中で、針を持つています。又、折にふれ三春町文化祭や、今年は滝ザクラ百周年記念行事等に、作品を展示し個々一針一縫い作品のお披露目を致しました。又、今年度は飯野町より講師をお招きしての講習会に参加し「卯」を作りました。今後も歴史職員の方々の協力を得ながら、可能な限り作って行きたいと思っております。



縄文土器グループ活動について
石井ヒメ子

毎月第2水、木曜日は資料館の研修室で土器づくりをしています。地下収蔵庫から運んだ本物の土器を参考にしながらの作成はいつも縄文人の技術の凄さに驚かされます。その薄さ形にはどうやって自分には無理と思われまます。会員の陶芸家の渡辺安里さんの御指導と、ろくろ等の道具を借りて、おかげさまで楽しく作れる幸せに感謝です。又年に一度の八幡神社下の空き地で行われる野焼きも迫力があり熱さに耐えながらまきをくべるのは大変ですがそうやってできた作品は、達成感と愛着が湧いて自宅に飾って楽しんでいきます。又秋には焼きあがった作品全部をまほらホールのホワイエで展示、デモンストラーションも行われました。これには夏の歴史民俗資料館のイベント土器づくりに参加された親子の皆さんの作品もありました。「柳津」に国内最大級の土偶付縄文土器。一月十七日福島民報一面に写真付き掲載がありビッグニュースでした。それはともかく土器づくりグループでは皆さんの参加をお待ちしています。



歴史紙芝居をつくる会
深谷陽子

令和2年春から「紙芝居をつくる会」知ろう三春の歴史サークル「通称「紙芝居の会」ができました。だいたい以前のことですが、お城山に、初めて戦国大名田村氏が城を築き、近郷を治めていた時代があり、その田村氏が豊臣秀吉に改易され、滅亡したことを知りました。かの有名な秀吉が、三春に関係があったこと、社会科で教わった日本史の中に「三春」もかかわっていたことがとても新鮮な驚きでした。これが、何気なく暮らしている「三春」の地を歴史からみるきっかけとなりました。そして、三春にはたくさん歴史があつて、これを紙芝居にしたらどうかなと思い、歴史民俗資料館で調べ、学びながら現在活動しています。とても楽しい作業です。あなたも仲間になりませんか。



方言グループについて
田母野 公彦

三春町歴史民俗資料館友の会に、「方言を学ぶ会」があります。毎回奇数月の第二火曜日、午前10時～11時30分まで1時間30分「全国方言基礎語彙調査項目」所収の「全」て、該当する三春地方の方言、身近かな日常語として使用している生活用語を取り上げながら進めています。「郷土の言葉」父の方言・なまり集「田村市のことば」他にも参考になり、項目以外の事柄も取り上げ、自由で楽しい雰囲気の中で学んで行きます。三春町歴史民俗資料館研修室を拝借し、毎回出たもの10の大切の記録し、登録メンバーも参加できるグループです。なたでもこれまでも通算80回以上も続いており、その成果を三春町の文化祭で発表・展示もされております。そのそれぞれに用いられている音韻の区別を示すので、最近ではCDを聴きながら学んでいいます。方言は地方で話されていく単語・語法で、標準語・共通語と違うものを指しますが、身近なものでも微妙な違いがあり、奥深い認識を新たにしようとする。ふるさとの訛なつかし、停車場の人ごみの中にそを聴きにゆく方言が忘れられてゆくことは日本人のアイデンティティが失われてゆくことでもあります。三春町歴史民俗資料館友の会、方言を学ぶ会代表 田母野公彦

ことば	三春のことば	例文
(乗り物から)降りる	おちる、おっこちる	あのバス停からおっこちたら早いわ。(あのバス停から降りたら早いよ。)
急ぐ、急がせる	せがす	そだにせがすな!(そんなにせかささないで!)
転ぶ	すっころぶ	道ですっころんじまった、おおいでえ。(道で転んでしまった、ああ痛い。)
騒がしい	うつつあし	朝がらうつつあしなあ。(朝からうるさいなあ。)
捕まえる	ひっつかまえる	トンボさ ひっつかまえたんだ!(トンボを捕まえたんだ!)
なぜ(何故)	なじよして	なじよしてそだいたずらすんだ?(どうしてそんないたずらすの?)
飽きる	やんだくなる	もう宿題するの やんだくなったわ。(もう宿題するのあきた。)

